

緑光

藤沢市の企業等が環境緑化を
推進するための活動を紹介しています



活動内容の紹介

公園紹介

会員紹介



会員募集中

藤沢市企業等環境緑化推進協議会では、会員企業を募集しています。

私たちと一緒に
緑あふれるまちづくり活動に
参加しませんか。



会長より ごあいさつ



藤沢市企業等環境緑化推進協議会
会長 森 淳美
いすゞ自動車株式会社藤沢工場

春色の候、会員事業場の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、当協議会の令和4年度の事業活動におきましてはコロナ禍では有るものの皆様のご協力の下、恙無く進めることが出来ました事、厚く御礼申し上げます。

さて、今年で新型コロナウイルス感染拡大問題は4年目を迎えました。当初と比べますと社会は格段に回復し、藤沢近辺の観光地や景勝地等では、多くの観光客の姿が見受けられます。

また、新年恒例の箱根駅伝では沿道で一生懸命応援される方々の姿が画像に映し出され、いつものお正月が戻ってきた感を受けました。昨年11月にはサッカーワールドカップが開催され、日本チームは強豪ドイツ、スペインを破る快挙を見せてくれました。全員が勝ちに拘り、まさに“One Team”で戦う姿を目の当たりにし、鳥肌が立つ思いでした。

次に環境問題について触れてみます。私が所属していますいすゞ自動車藤沢工場では、現在カーボン・ニュートラルへ向けて電動化や代替燃料(水素、CNF(カーボン・ニュートラルフリー))を使用した車両を目指し、一段と加速しながら日々商品化を目指しています。また、生産ラインではCO₂削減に貢献すべく、いろいろな機械や施策等が投入され、全社一丸で取り組んでいます。既に一部のトラックやバス等は商品化され、街で見受けられます。手前味噌で恐縮ですが、皆さんも街で“ISUZU”のエンブレムを見ましたら注意深く見ていただくと実感できるかもしれません。

また、皆様の事業場でも地球温暖化防止に向けていろいろな施策が行われているものと思います。この協議会におきましても然りであり、皆が一丸となり藤沢市の環境緑化運動の活動を積み重ねる事で、誰もが誇れるような優しく住みやすい環境になるものと強く思います。

この先もこの活動が有意義且つ実効性が有るものとなるように皆様方のご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

第49回 総会

藤沢市企業等環境緑化推進協議会の第49回総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会議形式(人数制限あり)とウェブ形式を併用し開催しました。

令和3年度の事業報告、決算報告及び監査報告が承認され、令和4年度役員の改選、事業計画及び収支予算が承認され、無事に審議を終えました。
(事務局 記)

第41回 緑と花いっぱい推進の集い 令和4年11月12日(土)

藤沢の緑を守り育て、市民による「緑と花いっぱい運動」をさらに推進していくことを目的とし、「藤沢市みどりいっぱい市民の会」「藤沢市」「当協議会」の3者共催で開催しており、今年で41回目を迎えました。今年も新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、昨年より規模を拡大し、藤沢公民館・労働会館等複合施設 Fプレイスで開催することができました。

令和4年度「緑と花のまちづくり」の各表彰(緑と花いっぱい功労者、ポスターコンクール、標語コンクール等)を行うことができました。受賞者の皆様からの喜びの声、作品への思いや感想などを直接お聞きすることができました。その後の緑化セミナーでは、ハーブ栽培の手法や、ポイントを講義頂き、緑化への関心を深めることができました。

次年度以降も引き続き、会員の皆様のご協力をお願い致します。

(株式会社荏原製作所 藤沢事業所 中山 記)



オイレス工業(株) 藤沢事業場

所在地 藤沢市桐原長8

事業内容 オイレスベアリング製造など

オイレス工業(株)は、2022年3月創立70周年を迎えました。藤沢事業場は、元山林であった



土地を購入し、1967年に開設、緑と太陽の自然環境にめぐまれた藤沢市の北に位置する事業場として、オイレスグループの企業行動憲章のひとつである『私たちは、地球環境の保護に積極的に取り組みます。』を自覚し、環境保全に貢献する製品「オイレスベアリング」の研究・開発から設計、製造及びお客様への販売に至るあらゆる企業活動において、地球環境に配慮した活動を継続的に推進しています。又、世界の課題である「2050年カーボン・ニュートラル」に向けての取り組みを進めています。

構内には、サクラ、ハナミズキ、ヤマモモ、クスノキなど約100種類の樹木が植樹されており四季折々の景色を楽しむことができます。そのため野鳥の飛来も多く、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロなど約20種類のバードウォッチングを楽しむことが可能で、ピオトープでは絶滅危惧種である藤沢メダカを飼育するなど、緑豊かな事業場です。

最後に、これからも生物多様性の保全に努め次の世代へつなげる活動を続けてまいります。



日本精工(株) 藤沢工場

所在地 藤沢市鵜沼神明1-5-50

事業内容 軸受製造 など

日本精工株式会社は1916年(大正5年)に日本で最初に軸受(ベアリング)を世に送り出して以来、日本における軸受のパイオニアとして、さまざまな軸受を開発・供給してきました。藤沢工場は1937年(昭和12年)に鋼球工場として「藤沢市鵜沼神明」に設立、翌年に軸受工場を建設し、今では大径、小ロット、精密級の多品種の軸受を製造しています。

藤沢工場では環境方針の1つに「生物多様性保全」を掲げ、2017年より年に2回、藤沢市内の緑地保全地区である「ふるさとの森(稲荷の森)」にて、社員およびその家族を主体とした、緑地保全活動を行っています。

内容としては、藤沢市とNPO法人の協力のもとに行われる自然観察会、落ち葉溜め(カントリーヘッジ)の管理と観察、巣箱の設置・清掃、枯れ枝の切り落とし・下草刈り(外来種駆除)、子供向けのクラフト作りなど、多岐に渡ります。伐採した木の幹や枝で作るカントリーヘッジの中に集められた大量の落ち葉の下には、毎年秋になると、たくさんのカブトムシの幼虫が見られるようになりました。



また藤沢工場内では昨年より、野菜によるグリーンカーテンの実施を始めました。窓一面を覆う植物のおかげで直射日光が遮られ、わずかですが窓の表面温度が下がる結果となり、またミツバチなどの昆虫もたくさん集まってきました。野菜の収穫も出来ることから植物に興味を持つ人も増え、コミュニケーションが増えるなど、職場環境の改善にもつながっています。



これからも地域の一員として生物多様性の保全に努めると共に、事業活動の環境への影響緩和に、より一層取り組んでまいります。

公園紹介

えんどうささくぼやとこうえん 遠藤笹窪谷公園

藤沢市遠藤字中尾4840番地

2022年夏に開園した遠藤笹窪谷公園の見どころをご紹介します。まずは公園管理棟の展望デッキからの全景。広々とした空を見上げれば気分も晴々とするでしょう。流れる雲、空を舞う鳥を追えば時のたつのも忘れてしまいそう。森に囲まれた谷戸の奥深さは藤沢の街にいるとは思えないほどです。



さて、園地に降りて池を渡る橋が次の見どころです。この池は大雨時の道路冠水などの対策に造成された遊水池ですが、工事後には驚くほどに水辺の自然が姿を現しました。何種ものトンボ、アメンボ、ヨシやヤナギなど様々な水辺の植物、その植物に集まる昆虫や鳥の仲間。湿地や池沼は水辺の環境を利用し依存する動植物にとってはかけがえのない空間ですが、街の発展とともに多くが埋め立てられ失われてしまいました。橋の上からは水辺の自然の営みを目にするすることができます。

次の見どころは、子どもたちに大人気の水路です。谷戸の奥から引き込まれた水の流れは浅くて、水遊びに最適。けれど、この水路は谷戸の自然も生きる場所です。思いやりの心で遊んでくださいね。



水路から引き込まれた水で潤された場所は稲や花菖蒲が育つ田んぼになりました。この田んぼも見どころのひとつです。明治時代初期の地図を見ると、この谷戸では水田が耕作されていたことが示されています。戦後まもなく撮影された空中写真にも水田が写し出されており、ここが周囲を森や草地、農家や台地上の畑などに囲まれた里山であったことがわかります。しかし、1970年代ころから耕作放棄地が増えだして、1980年代には水田はすっかりなくなりました。水田放棄地はヨシ原として長いこと続きます。谷戸の入り口近くは埋め立てられ、近年はススキやクズが生い茂る荒地となってしまいました。その荒地を造成し直して遠藤笹窪谷公園が誕生しました。かつての里山をしのぶ水田が再現され、菖蒲田では美しい花を楽しむことができます。田んぼは、水を張った場所もその周りの畔や水路も含めて水辺環境を作り、多くの動植物に生息場所を提供します。



遠藤笹窪谷公園は周囲の森や湿地も含めて、自然にとっても人間にとっても藤沢の里山の賑わいがよみがえる場所として期待したい公園です。

藤沢市自然生態専門員 原田敦子

編集後記

今年も春の訪れと共に、機関誌「緑光」77号をお届けします。2022年もコロナの影響は続いており、上期の「緑化講習会」・「視察見学会」等の行事は行動制限も有り中止となりましたが、藤沢市緑と花いっぱい推進の集いにつきましては第41回の開催を迎えることが出来ました。Withコロナにより行動制限は無くなり、徐々にではありますが日常を取り戻しつつあります。来年度は中止していた行事も再開出来ることと思います。当協議会の活動が、皆様の周囲に緑と花が増えていくきっかけとなればと思います。

(東京ラヂエーター製造株式会社 本社・藤沢工場 山路 記)

発行者：藤沢市企業等環境緑化推進協議会

編集委員：(株)荏原製作所藤沢事業所、オイレス工業(株)藤沢事業場、
東京ラヂエーター製造(株)、東レ(株)基礎研究センター、
池上通信機(株)システムセンター、日本精工(株)藤沢工場

事務局：〒251-8601 藤沢市朝日町1-1 藤沢市役所みどり保全課

TEL：0466-25-1111(内線4352)

FAX：0466-50-8421

E-mail：fj1-midori@city.fujisawa.lg.jp

ホームページ：https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/
midori/machizukuri/kankyo/shizenhogo/kigyoryokuka.html